

第11回

戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭

上映作品

悲しき戦争の記憶、反核をテーマに映画7本を上映



「あゝひめゆりの塔」



「ゴジラ」



「カンタ！ティモール」



「戦争と人間 第一部 運命の序曲」



「戦争と人間 第二部 愛と悲しみの山河」



「戦争と人間 第三部 完結篇」



「ひまわり 50周年HDレストア版」

特別イベント

映画の背景、歴史を深く知ってほしい
トークショーやコンサートなど特別イベントを開催

8/10 映画「あゝひめゆりの塔」

上映後トークショー
ゲスト 吉永小百合さん



聞き手 立花珠樹さん
(共同通信社編集委員)

8/10 映画「カンタ！ティモール」

上映後トークショー
ゲスト 広田奈津子監督
斎藤とも子さん



8/11 いま聞いてほしい 被爆者からの声 ゲスト 山本 宏さんの被爆証言

(江戸川区被爆者団体「親江会」会長)

8/11 俳優・宝田明を語る 映画「ゴジラ」上映後トークショー ゲスト 佐藤利明さん (娯楽映画評論家)

8/14 特別企画 ウクライナ支援 チャリティ平和コンサート 「Peace for UKRAINE」

出演: カテリーナ / 金谷康佑 /
YUKARI/流山少年少女合唱団/
Longing for peace ensemble



2022.8.10[水] ~ 14[日]

スター・おおたかの森ホール

主催: 一般社団法人 昭和文化アーカイブス
後援: 流山市 / 流山市教育委員会

高校生以下は特別料金 夏休みの平和学習にもぜひご活用ください

8/10
水

- ① 13:00~『あゝひめゆりの塔』上映 上映後、吉永小百合さん・立花珠樹さんトークショー
(12:30~開場 13:00~上映 (125分) 15:15~トークショー 16:00終了予定) 一般: 1500円 (前売り券) / 2000円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 1000円 (当日券)

8/11
木・祝

- ② 17:00~『カンタ！ティモール』上映 上映後、広田奈津子監督・斎藤とも子さんトークショー
(16:30~開場 17:00~上映 (110分) 19:00~トークショー 20:00終了予定) 一般: 1500円 (前売り券) / 2000円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 1000円 (当日券)

8/12
金

- ③ 11:00~いま耳を傾け聞いてほしい被爆者からの声 山本宏さんによる被爆証言
(10:30~開場 11:00~被爆証言ほか (60分) 12:00終了予定) 入場無料 (予約不要)

8/14
日

- ④ 13:00~『ゴジラ』上映 上映後、佐藤利明さんトークショー 「俳優・宝田明を語る」
(12:30~開場 13:00~上映 (97分) 14:50~トークショー 16:00終了予定) 一般: 1500円 (前売り券) / 2000円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 1000円 (当日券)

- ⑤ 17:00~『ひまわり 50周年HDレストア版』上映
(16:30~開場 17:00~上映 (107分) 18:47終了予定) 一般: 1000円 (前売り券) / 1200円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 700円 (当日券)

- ⑥ 10:00~『戦争と人間 第一部 運命の序曲』上映
(9:30~開場 10:00~上映 (195分) 13:15終了予定) 一般: 1000円 (前売り券) / 1200円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 700円 (当日券)

- ⑦ 13:40~『戦争と人間 第二部 愛と悲しみの山河』上映
(13:20~開場 13:40~上映 (181分) 16:41終了予定) 一般: 1000円 (前売り券) / 1200円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 700円 (当日券)

- ⑧ 17:00~『戦争と人間 第三部 完結篇』上映
(16:45~開場 17:00~上映 (187分) 20:07終了予定) 一般: 1000円 (前売り券) / 1200円 (当日券)
高校生以下: 500円 (前売り券) / 700円 (当日券)

- ⑨ 13:00~特別企画 ウクライナ支援チャリティ平和コンサート 「Peace for UKRAINE」
(12:30~開場 第一部 13:00~ 第二部 14:40~ 15:30終了予定) 一般: 2500円 (前売り券) / 3000円 (当日券)
高校生以下: 1000円 (前売り券) / 1500円 (当日券)

- 一般: 3500円 (前売り券) / 4000円 (当日券) 高校生以下: 1500円 (前売り券) / 2000円 (当日券)
オンラインチケット: 2000円 (※8/19~アーカイブ配信)

前売り券

全席自由席

プログラム①~⑨ (※③は除く) のチケットは下記にて7/4~販売

・スター・おおたかの森ホール1階 インフォメーション窓口

・カンフェティWEBサイト

<http://confetti-web.com/heiwaeigasai/>

・カンフェティ電話

0120-240-540

▶通話料無料

▶平日10:00~18:00

▶オペレーター対応



※③はそのまま会場にお越しください (定員450人)

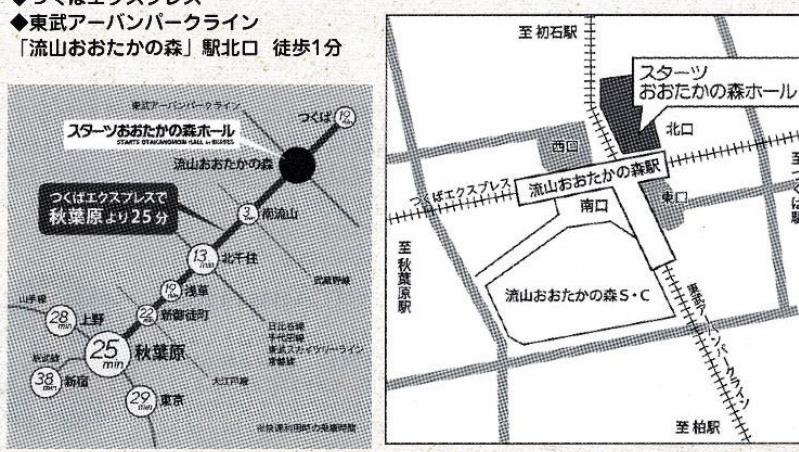
※当日券は前売り券が完売次第、終了します

※問い合わせ 090-7478-7507 主催者・御手洗 (みらい)

会場・アクセス

スター・おおたかの森ホール

千葉県流山市おおたかの森北1-2-1



「戦争の記憶と記録を語り継ぐ映画祭」 サポーター募集

本映画祭は、10代~40代中心のボランティアスタッフと、活動に賛同して下さる支援者の皆様に支えられています。右記、映画祭スタッフ、2021年の映画祭にご支援くださいました方々に心より御礼申し上げます。より一層、平和への願いを込めた催しを開催できるよう精一杯努めて参ります。主催者代表: 御手洗志帆

一般社団法人 昭和文化アーカイブスは、ご協賛くださる個人・企業・共催者の方を募集しています。ご協賛くださる方には、来年度(2023年)の映画祭の招待券1枚1枚分を送付いたします。

<協賛料> 1口 5000円 <協賛方法> 銀行振込 ◆銀行名: ゆうちょ銀行・一三八支店

◆口座番号: 普通 0137002 ◆口座名義: シャ)ショウワブンカアーカイブス

<2021年映画祭スタッフ> 五十音順
井下拓也、入江生真、浦田佳奈、太田真梨子、岡部和、河岡理子、北原義幸、肥塚葉、佐藤喜則、佐野彩、柴田恵津子、篠原真由、清水光太郎、鈴木志歩、田崎沙莉、西雅代、原瑞稀、伊賀勇人、篠奈祐

<2021年映画祭サボーター> 五十音順
五十嵐 貞一、五十嵐 義正、石井 賢一、上松道夫、大竹 由希子、岡田 真樹、金倉 美佐江、川村 秀、黒田 礼子、今野 恵子、近野 十志夫、齊藤 伊佐夫、坂下 恵、篠田 恵、須田 俊子、仙石 敦子、土屋 一成、濱田 研吾、プリンシブルK、中村 教男、のみち

① 8/10 13:00～映画『あゝひめゆりの塔』&上映後、吉永小百合さんトークショー



『あゝひめゆりの塔』(1968年)

【監】舛田利雄【脚】八木保太郎、若井基成、石森史郎
【撮】横山実【音】真鍋理一郎【美】木村威夫
【出】吉永小百合、浜田光夫、和泉雅子、二谷英明、
中村誠右衛門、太田雅子、和田浩治、藤竜也、
篠森みち子、青木義朗、乙羽信子

② 8/10 17:00～映画『カンタ！ティモール』上映&上映後、広田奈津子監督・斎藤とも子さんトークショー



『カンタ！ティモール』(2012年)

【監・脚・編・ナレーション】広田奈津子
【プロデューサー・助監・音楽監修】小向定
【監修】中川敬(Soul Flower Union)
南島風淮(報道写真記者)

③ 8/11 11:00～いま聞いてほしい被爆者からの声 山本宏さんによる被爆証言（入場無料）



ゲスト 山本 宏さん 東京都江戸川区被爆者団体「親江会(しんこうかい)」会長

「ミスター赤ヘル」と呼ばれた元広島カーブ監督の山本浩二さんの兄。1945年、国民学校2年生だった7歳のとき、爆心地から約2・5キロの広島市己斐町の自宅近くで被爆した。戦後は、原爆の話題には触れたくないと思いつつも、静かに語り継ぎ、2017年に74歳で他界。同年7月に初めて社説を公表した。江戸川区在住、84歳。

今回、被爆体験とともに、趣味である詩吟で、原爆の悲惨さを表した『原爆行』を吟じる。

④ 8/11 13:00～映画『ゴジラ』上映&上映後、佐藤利明さんトークショー



『ゴジラ』(1954年)

【監・脚】本多猪四郎【原】香山滋【脚】村田武雄
【撮】玉井正夫【音】伊福部昭【美監】北畠夫
【美】中古智【特技】内谷英二
【出】宝田明、河内桃子、平田昭彦、志村喬、堺左千夫、
村上冬樹、小川虎之助、山本廉、芦井きん

世界にゴジラの名を轟かせた、日本初の本格SFにして特撮映画の金字塔。「ゴジラこそ今なお我々の上に覆いかぶさっている水爆そのものだ」という劇中の台詞に、原爆の記憶がまだ生きている（戦後9年しか経っていない）切実な恐怖がこめられる。今年、他界された宝田明は毎年のように国内外でゴジラ関連のイベントに参加、作品にこめられた核の脅威や、自身の満洲からの引揚げ経験などを語り、平和へのメッセージを発信し続けていた。

トークショー 俳優・宝田明を語る～ゴジラと歩んだ平和への道～

ゲスト 佐藤利明さん

娯楽映画研究家・オトナの歌謡曲プロデューサー。1963年東京生まれ。昭和の娯楽映画の魅力を新聞連載やコラム、CDアルバム、映像ソフトのプロデュースを通して紹介するエンターテイメントの伝道師。音楽プロデューサーとしても活躍。2015年文化放送特別賞受賞。著書に「クレイジー音楽大全クレイジー・サウンド・クロニクル」「寅さんのこと生きてる? ソラ結構だ!」「石原裕次郎・昭和太陽伝」「みんなの寅さん from 1969」「番匠義範画集大全: 娯楽映画のマエストロ」など多数。他界した宝田明さんは「ゴジラ」の主演俳優として、1954年にソ連軍が攻めてきた満洲での悲惨な青年時代の体験をもとに、平和の尊さを語ってきた。今年3月、87歳で他界。今回トークショーでは当映画祭に宝田さんが出展した2020年の映像も上映。

トークショーで宝田さんとの思い出を語る。

宝田 明
(1934 - 2022)

「ゴジラ」の主演俳優として、1954年にソ連軍が攻めてきた満洲での悲惨な青年時代の体験をもとに、平和の尊さを語ってきた。今年3月、87歳で他界。今回トークショーでは当映画祭に宝田さんが出展した2020年の映像も上映。

ト

⑤ 8/11 17:00～映画『ひまわり 50周年HDレストア版』上映



『ひまわり 50周年HDレストア版』(1970年)

配給・宣伝: アンプラグド イタリア / I GIRASOLI/ビスタサイズ/107分/モノラル2.0ch 提供: メダリオンメディア
【監】ヴィットリオ・デ・シーカ【脚】チザーレ・ザヴァッティーニ、アントニオ・グエラ、ゲオルギ・ムディバニ
【撮】ジュゼッペ・ロトゥンノ【音】ヘンリー・マンシニ【制作】カルロ・ボンティ
【出】ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ、リュドミラ・サベーリエワ

幸せな結婚生活を送っていたアントニオとジョバンナ。しかし、アントニオは激戦のソ連戦線に送られ、行方不明になる。終戦後、何年も待ち続けたジョバンナは僅かな手掛かりを頼りに夫を探しにソ連を訪れるが……。多くの兵士や農民、戦争で命を奪われた人々が眠っている一面に広がるひまわり畑はウクライナで撮影された。戦争がいかに普通の人の運命を狂わせるか、ロシアの侵攻を受けた彼の地に思いを寄せながら観てほしい名作。

映画『戦争と人間』三部作一挙上映!

8/12 ⑥ 10:00～第一部 ⑦ 13:40～第二部 ⑧ 17:00～第三部



『戦争と人間 第一部 運命の序曲』(1970年)

【監】山本薩夫【原】五味川純平【脚】山田信夫
【撮】姫田真佐久【音】佐藤勝【美】横尾嘉良
【出】滝沢修、芦田伸介、三國連太郎、浅丘ルリ子、
二谷英明、石原裕次郎、水戸光子、中村勘九郎、
高橋悦史、山本学、松原智恵子

『戦争と人間 第二部 愛と悲しみの山河』(1971年)

【監】山本薩夫【原】五味川純平【脚】山田信夫、武田敦
【撮】姫田真佐久【音】佐藤勝【美】横尾嘉良
【出】浅丘ルリ子、高橋英樹、北大路欣也、山本圭、
吉永小百合、江原真二郎、地井武男、木村夏江、
和泉雅子、佐久間良子

『戦争と人間 第三部 完結篇』(1973年)

【監】山本薩夫【原】五味川純平【脚】山田信夫、武田敦
【撮】姫田真佐久【音】佐藤勝【美】横尾嘉良
【出】北大路欣也、山本圭、浅丘ルリ子、吉永小百合、
高橋英樹、夏純子、波多野憲、鈴木瑞穂、滝沢修、
芦田伸介、水戸光子

新興財閥の伍代家は満洲における利権を求めて、軍部と結託。関東軍による張作霖の爆殺、柳条溝事件など満洲の情勢は悪化するが、「死の商人」である伍代家はのし上がっていく。戦争へ突き進む時代を描くオールスター大作について、山本は「戦争がなぜ起きていくのかを、戦争を起こした者に対する抗議の意志をこめて暴いていきたい」と製作意図を語っている。戦争という愚行が繰り返されている今、観るべき作品。キネ旬2位。
毎日映画監督賞。

さらには大陸の利権拡大を図る伍代財閥は、傀儡として作られた満洲国に食いこもうと現地の富豪に接近する。

一方、次男の俊介は憤りを覚え、親友の耕平は反戦運動で特高に捕えられる。深刻な不況、2.26事件から加速する軍部の勢力と暴走。そんな時代の大きなうねりに翻弄される様々な男女の愛。数多い登場人物を見事にさばきドラマを構築する山本の手腕について「やっぱり人間の真実を見つめているから」と脚本の山田は語っている。キネ旬4位。

「死の商人」として大陸に進出した伍代一族だが、俊介は関東軍を批判し前線に身を投じる。ノモンハンの戦闘シーンは当時のソ連の協力をとりつけ、戦車などを集め(兵隊は駐屯する師団を演習の名目で集めたという)スターリングラードの大平原でロケを敢行、大スベクタクルとなった。

今年亡くなられた山本圭(耕平役)は、叔父でもある薩夫監督から「ぶたれたる場面は本当にぶたってくれ」と言われ、氣迫あふれる演技を見せる。キネ旬10位。

司会・朗読
斎藤とも子

歌手・バンドウーラ奏者
カテリーナ Kateryna

ウクライナ出身。生後30日のときに Chernobyl 原発事故に被災し、一家は町から強制退去させられる。6歳の時に Chernobyl 原発事故で被災した子ども達で結成された「Chernobol Karina」に入団後、海外公演に多数参加。19歳のときに音楽活動の拠点を東京に移す。母国の平和を願い、ウクライナの民族楽器バンドウーラを演奏し歌う。

～こどもたち、若者たちも平和の歌を届けます～

Longing for peace ensemble 東京音楽大学学生と卒業生の有志で構成。2022年2月に被爆ピアノコンサートに参加。

流山少年少女合唱団 子育ての街・流山で「世界に響く歌声」を目指す。2018年11月に加藤洋朗が創設した合唱団。

歌手 Pf/フィリップ・マルシャン
YUKARI Vn/渡辺剛

福島県いわき市出身。地元でピアノ専属歌手として活躍していたが、3.11後、子どもたちを連れて東京に自主避難。2013年に震災時の心境を初の作詞・作曲アルバム「My Life」に込め発表。以降、関東を中心に学校でコンサート。音楽を通して福島の復興支援をし続けている。

ジャズピアニスト Vo/杉田あきひろ Vn/渡辺剛
Bs/金子健 Gt/白上庸介

兵庫県西宮出身。立命館大学卒業。大学在学中からプロ・ジャズピアニストとして活動を開始。清岸戦争のニュースを見て、音楽家は音楽で反戦を表現すべきだと「或る兵士の唄」を作曲。今年5月、兵庫県被爆二世の会による朗読劇で即興でピアノを奏でる。現在は京都府宮津市と京阪神を拠点に活動中。